

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

a. 企業間の連携

- 企業間の連携を深め、オープンイノベーションを活用した新規事業創出に取り組めます。
- 取引先のニーズに的確に応え、更なる技術力の向上、業務の効率化の推進のため同業者間との情報交換を更に推進し、ICT等の活用により自社の体力強化を図り付加価値の高い業務を目指します。
- 現場間（元請、その他協力業者）での情報共有、可視化による業務の効率化を行います。
- サプライチェーン全体の情報共有・可視化を行い、業務の効率化を図るとともに広域における供給網の安定化を図ります。

b. IT実装支援

- 電子申請やクラウド等を活用した企業間取引に取り組めます。
- 「ICT」を搭載した重機導入で現場を可視化し、協力会社とのデータ相互利用やIT実装の支援を行います。

d. グリーン化の取組

- 省エネ対応の生産設備の導入を図り、生産工程等の脱・低炭素化に取り組めます。
- データ活用による工期の短縮、省エネルギーの機械や設備の導入、廃棄物のリサイクルなどにより低炭素化に取り組めます。

e. 健康経営に関する取組

- 健康経営に係るノウハウを取得し、健康増進施策の共同実施に取り組めます。
- 福利厚生の実質化を図り、健康経営に係るノウハウを蓄積します。
- 働きやすい職場環境を整備し、健康経営に取り組めます。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とするよう努めます。

③知的財産・ノウハウ

知的財産取引に関するガイドラインや契約書のひな形に基づいて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

特になし

令和6年3月11日

西岡総合建設株式会社

代表取締役 西岡 亮